

C⁴D による測定の手順

C⁴D の適正なセッティング (Frequency、Amplitude、Headstage Gain) の手順を説明します。

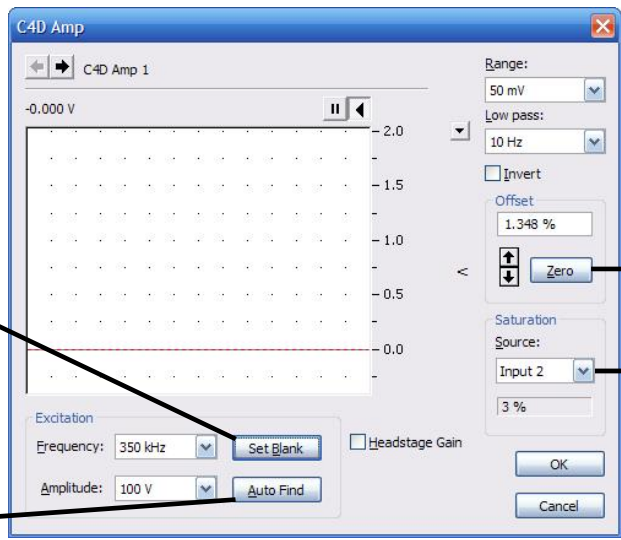
Chart ソフトウェアを開くと、C4D の設定はデフォルト(初期)設定になります。

1. Chart ソフトウェアを開く
2. "settings for C⁴D analysis" ファイルを開く
3. Edit メニューから Default Settings...を選び保存する

記録の手順

1. Chart ソフトウェアを開く
2. "settings for C⁴D analysis" ファイルを開く (デフォルト設定として保存していない場合は)
3. チャンネル 1 に C⁴D ウィンドウを開く
4. <Saturation> の Source: 欄に Input 2 を指定
5. <Offset> 欄の Zero をクリックする
6. C⁴D ヘッドにキャピラリーを通さない状態か、溶液が入っていないドライなキャピラリーを通した状態で、Set Blank をクリックし OK; これで連続的に Auto Find モードで使用できます。
7. キャピラリーにバッファー溶液を充填し C⁴D ヘッドに通します。
8. Auto Find をクリックし OK、これで自動的に周波数 Frequency、アンプリチュード Amplitude、ヘッドステージゲイン Headstage Gain は最適化設定されます。
9. Auto Find を指定しても、極端なパラメータ(最小の周波数やアンプリチュードでヘッドステージゲインもオンなど) の設定になった場合は、手動でこの設定値から1~2段下げて、最大シグナルが得られる設定値を見つけてください。
10. <Offset> 欄の Zero をクリックしてください。
11. ここで Range を小さい値に設定しておく必要があります。
12. これで標準液やサンプルの測定準備が完了です。測定中は Offset や Range を何度も変更する必要があるかも知れませんが、Frequency、Amplitude、Headstage Gain の設定は変更しないでください。変更する場合は新たにキャリブレーションをする必要があり、これまでのデータとの相関が無くなります。

注: これで適正な C⁴D の設定 (Frequency、Amplitude、Headstage Gain) が見つかったことになり、C4D ウィンドウにこの設定値を入力し、測定を始めてください。



C⁴D ヘッドステージ内にキャピラリーを通さないで Set Blank をクリック

C⁴D ヘッドステージにバッファーを充填したキャピラリーを通して Auto Find をクリック

Zero をクリック

Input 2 を選択

Chart ソフトウェアの C⁴D